

第8章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

本計画は、西郷村における高齢者に関する総合的な計画であり、その範囲が広範にわたるため、行政のみならず民間団体や保健・福祉・医療・介護・防災などの各機関との連携が欠かせないものになります。

このため、庁内関係部署はもとより住民、地域団体に計画の趣旨や内容の周知を図り、連携の強化、協力体制づくりを進めていきます。

(1) 庁内関係部署の連携

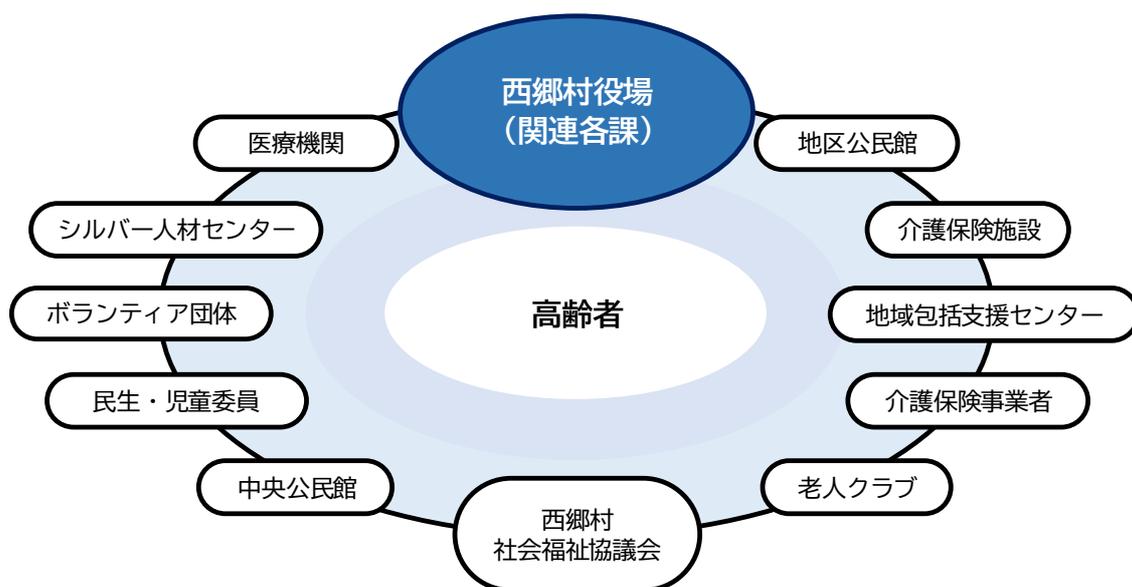
本計画に携わる部署は、庁内の組織で見ると介護保険や高齢者福祉の担当課だけでなく、保健・福祉・医療・介護・道路・防災担当課など広範囲にわたっています。

このため、各部署間の綿密な情報交換と連携の下、計画の適正な推進と進行管理を行います。

(2) 関係機関・団体との連携

本計画を推進し、明るく活力ある長寿社会を築いていくためには、行政のみならず、住民や事業者、各団体等の役割も重要となります。

このため、西郷村社会福祉協議会や保健・医療・福祉機関、ボランティア団体、民間事業者、老人クラブ、シルバー人材センター等との連携を強化し、役割分担と協働の下、計画を推進します。

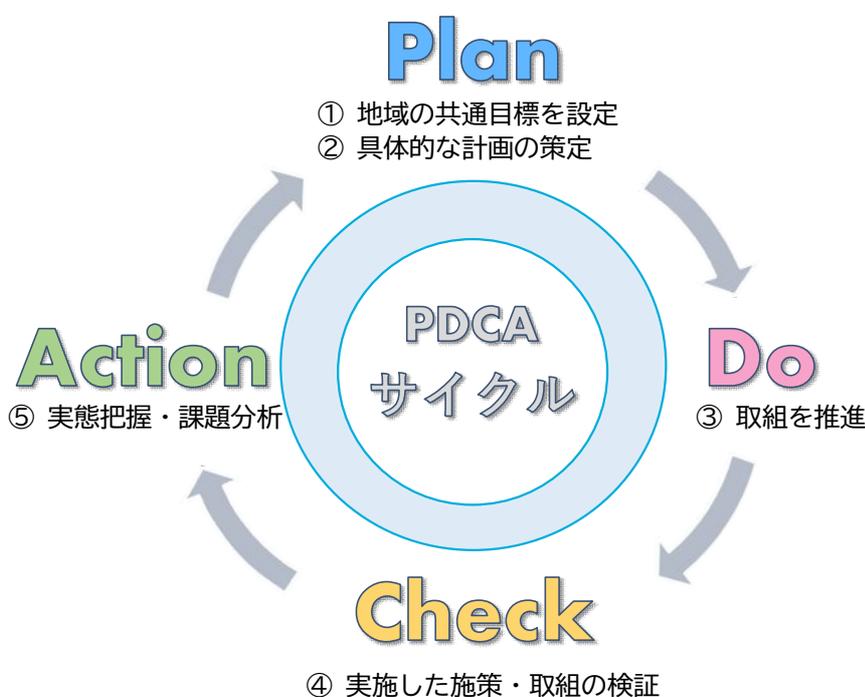


2 計画の進捗管理

本計画の総合的かつ円滑な推進のために、計画の進捗状況を取りまとめ、「西郷村介護保険運営協議会」及び「西郷村高齢者保健福祉計画策定委員会」における評価により、進行管理を行います。計画全体の総括的な管理のため、計画・実施・評価・改善によるPDCAサイクルを確立し、保健・医療・福祉に関して進捗状況を評価・確認することで高齢者の心身の多様な課題に対応し、事業の適正な推進に努めます。

また、要介護認定者について、保険料の収納状況、サービスの需給状況などについて適宜、検討を行い介護保険財政の健全運営を図っていきます。

計画推進の母体となる地域包括支援センター及び地域密着型サービス等の公正・中立性の確保並びに適切な運営を図るため、定期的に協議を開きます。



自立支援・重度化予防に向け、地域マネジメントを実施

<PDCAサイクル>

- ①地域の共通目標を設定
- ②目標達成に向けた具体的な計画の策定
- ③計画に基づき、自立支援・介護予防に向けた取組を推進
- ④実施した施策・取組の検証
- ⑤地域の実態把握・課題分析

3 SDGs の推進

国では、地方での SDGs の推進が地方創生に寄与するとしており、本村では「西郷村第四次総合振興計画」において、各基本施策と関連付けながら浸透を図っています。

SDGs の理念は、村が実施する持続可能なまちづくりと密接に関係するものであり、将来世代が希望を持ち続けることができる持続可能なまちづくりに向けて、その共通理解を図るために、村民をはじめとした多様な主体との連携をさらに深めることが大切です。

本計画では、第四次総合振興計画後期基本計画（令和5年度～令和8年度）の「5-3 高齢者福祉の充実」で掲げる3、16、17の達成に向け推進を図ります。

